

## 東日本大震災

を通じ、防災に対する意識が高まると同時に災害に強い社会を実現するための技術開発をすることが重要な課題となっています。そこで横浜企業経営支援財団（IDEC）ではセミナーを開催し、防災対策の最前線で活躍されている研究者の方々に、**現場が求める防災技術のニーズ**について講演していただきます。**防災関係に取り組んでいる**企業の皆様、また、**新分野進出を検討している**企業の皆様、是非、産学交流サロンへの参加をお待ちしております。

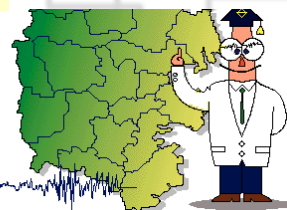
■講演① 15:00~16:00 東京工業大学 教授 工学博士 翠川 三郎 氏

### 地震防災と情報 — IT技術活用の可能性 —

トピックス

地震災害、地震情報システム、地震動モニタリグ  
企業防災、防災教育

横浜市をはじめ首都圏では首都直下地震や南海トラフ巨大地震により甚大な地震災害の発生が危惧されている。横浜市での過去の震災や今後予想される被害を概観したうえで、防災対策のための地震動モニタリングや情報技術の活用について紹介する。



■講演② 16:20~17:20 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 山田 常圭 氏

### 安心安全のための消防防災技術の開発動向と今後の展開—救える命を救うICT技術利用—

トピックス

- ・「21世紀の消防を考える」将来予測調査(平成10年実施)の実現度
- ・消防研究センターでの研究紹介(火災予測、地震被害軽減 他)
- ・消防機関が現場で必要とするニーズ



国民の安心安全を担う消防活動において重要なのは、緊急事態発生後、一刻も早く対処することである。そのため消防防災技術にとっては、迅速かつ適切な情報を取得し伝達することが非常に重要である。ICT技術の進歩によってツールはそろってきたが、如何に活用していくかアプリケーション面でさらなる検討が必要とされる。その他、現場における消防防災分野での技術ニーズについて紹介する。

【日時】：平成24年12月11日(火) 15:00~17:30

【会場】：SBI大学院大学会議室 横浜市中区太田町2-23  
(横浜メディアビズセンター6F)

【参加費】：2,000円/1名(当日会場で申し受けます)

主催 (公財)横浜企業経営支援財団

お問合せ先 経営支援部技術支援課 TEL:045-225-3733 FAX:045-225-3738  
<http://www.idec.or.jp> ★HPからも、お申し込みできます★

#### ■第189回産学交流サロン 参加申込書■

氏名 (ふりがな) \_\_\_\_\_ 所属・役職名 \_\_\_\_\_

企業名 \_\_\_\_\_ 事業内容 \_\_\_\_\_

所在地〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ E-Mail \_\_\_\_\_



横浜型地域貢献企業 (□にチェックをつけてください) ※認定企業は参加費が半額となります